



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



災害医療派遣チーム（DMAT）研修に参加した横浜医療センターチーム

第38号 目次

院長の言葉	1
行事紹介	
平成24年度 病診連携の集い	2
公開医療講座について	
日本DMAT隊員養成研修	3
戴帽式	
お知らせコーナー	
救急搬送モデル事業参加について	4
地域医療連携室を移転しました	5
病院バス停・駐輪場の屋根の設置について	
地域医療連携	6
医師の人事異動	
外来担当医表	7



発行月：平成24年10月
 発行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：工藤 一大
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電話：045-851-2621
 FAX：045-851-3902
 URL：http://www.yokohama-mc.jp



当院携帯サイトはこちらから

院長の言葉

暑かった夏もようやく終わり、急速に秋も深まって来たように感じています。

当院では院内各所に患者ご意見箱を設置しております。毎日患者の皆様、ご家族の方々からのご意見をいただいております。感謝申し上げます。最近はお褒めのご意見も頂けるようになってまいりましたが、まだまだ改善を求める声、当院職員の至らぬ点などをご指摘いただくことも多くあります。できるだけ改善できる点は改善していこうと、常に検討しております。これまでに検討の結果、改善してきたことをいくつか挙げさせていただきますと、自転車置き場に屋根を設置、病院構内バス停まで屋根(キャノピー)と身障者用駐車場の屋根の設置、院内走行時の速度制限板(バンプ)の設置、院内での携帯電話使用可能場所の明確化、外来待合室にテレビ設置、外来の会計待ちに会計処理ができたことをお知らせする番号札とディスプレイを導入、車いす数の増、再診機受付開始時間を早め、エスカレータ上り・下り表示を大きくし、病棟のシャワー室に安全のため手すりを設置、など対応してまいりました。お金のかかる対応は予算の関係もありすぐにはできないこともありますが、すぐにできることはすぐに対応するようにいたしておりますが、まだまだ対応できていないことも多くあります。中には誤解と思われるご指摘もあり、そのような場合には誤解を解くように回答させていただくこともあります。



院長 工藤 一大

また、国立病院機構では、毎年一回全144病院で患者満足度調査をしております。この10月には当院でも外来部門、入院部門で調査を行いますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

皆様の声には真摯に対応し、より良い病院づくりに努力してまいります。これからも何なりとご意見をくださいますようお願いいたします。

当院の理念であります「患者中心の医療」、「地域完結型医療」、「地域で選ばれる病院」を目指して努力してまいりましたが、今後も一層努力し、地域の関係医療機関や行政とも密に連携して「医療の質と安全」の向上に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



行事紹介

平成24年度 病診連携の集い

地域中核連携係長 駒形 俊文

地域の開業医を中心とした先生方を対象に、当院の取組について紹介させていただくとともに、当院と地域医療機関との間で、緊密な連携体制を構築することを目的として毎年開催しています。

昨年度までは、登録医大会としていましたが、今年から名前を変え7月26日(木)に開催しました。

【風景 左：がん診療に係る「地域連携クリティカルパス」説明会、右：菊池戸塚区医師会会長あいさつ】



公開医療講座について

地域中核連携係長 駒形 俊文

6月25日(月)午後7時から戸塚公会堂 講堂にて、第7回公開医療講座を開催しました。テーマを「肝臓がんの予防と治療について」として、小松臨床研究部長が講師を務め、62人の方にご参加をいただきました。

さらに、9月25日(火)午後6時30分から、同じく戸塚公会堂 講堂で、第8回目の講座を開き、「胃がん - 最近の話題と治療法について - 」をテーマに、関戸統括診療部長が講師を務め、54人の方にご参加をいただきました。次回は11月27日(火)に「大腸がん - 最近の大腸がん診療について - 」をテーマに開催いたします。

第7回公開医療講座



第8回公開医療講座



行事紹介

日本DMAT隊員養成研修

庶務係長 小田嶋 正典

平成24年9月5日から8日までの4日間、兵庫県災害医療センターで開催された災害医療派遣チーム(DMAT)研修に横浜医療センターでは最初のチームとして、宮崎救急管理部長、西村医師、櫻井副看護師長、吉村看護師と共に参加してきました。

DMATとは、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの、現場の急性期に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームをさします。

4日間の研修では、講義、机上訓練、実践訓練、筆記・実技試験が分刻みでスケジュールされており想像以上にハードな内容でした。

最終日には、各チームが「DMAT」の文字が胸や背中に入ったユニフォームに着替えてレスキュー隊との合同実践訓練があり、災害時と同様に安全に活動できるように、ヘルメット、膝当て、肘当て、手袋、ヘッドライトも装備し訓練に望みました。

研修を受講して、日頃の準備や資機材の充実も重要であり、また、災害拠点病院としての日頃の準備の重要性も強く感じました。4日間の研修に参加するにあたって装備や機材の準備等バックアップをしてくださった皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



戴帽式

看護学校 教員 遠藤 実菜

1年生は大きな希望と少しの不安を胸に入学して7カ月が経ちました。人体の構造や機能、看護学の授業を通して、患者様が安全・安楽に過ごすことができるようにという配慮に基づいた根拠があることを学び日々学習しているところです。

平成24年10月5日に第50回生の戴帽式が本校体育館にて行われ、厳粛な雰囲気の中今年度の戴帽生82名にナースキャップとエンブレムが戴帽されました。

戴帽式とは、看護師の象徴であるナースキャップを戴き、手にしたろうそくにナイチンゲール像の灯火を灯して、看護の道へ進む決意を新たにす儀式です。

学生たちは、戴帽式に向けてナイチンゲール誓詞の暗唱やナイチンゲール賛歌、聖火継承などの練習を係りの学生を中心に放課後の時間も使いながら、クラス全体で練習を行いました。

当日は、戴帽の儀では緊張しながらも決意を新たにす学生たちの姿を見ることができました。そして厳かな聖火継承、息の合ったナイチンゲール誓詞の暗唱を行い、美しいハーモニーのナイチンゲール賛歌をピアノ伴奏で歌いました。その後、上級生によるアーチをくぐり戴帽式は終了しました。

これからますます看護師になるべく専門的な知識や技術、態度について学んでいくこととなります。学生たちの灯した灯火を消すことのないように育て次の後輩たちに受け継いでいけるように私たち教職員一同一層努力していきたいと思ひます。

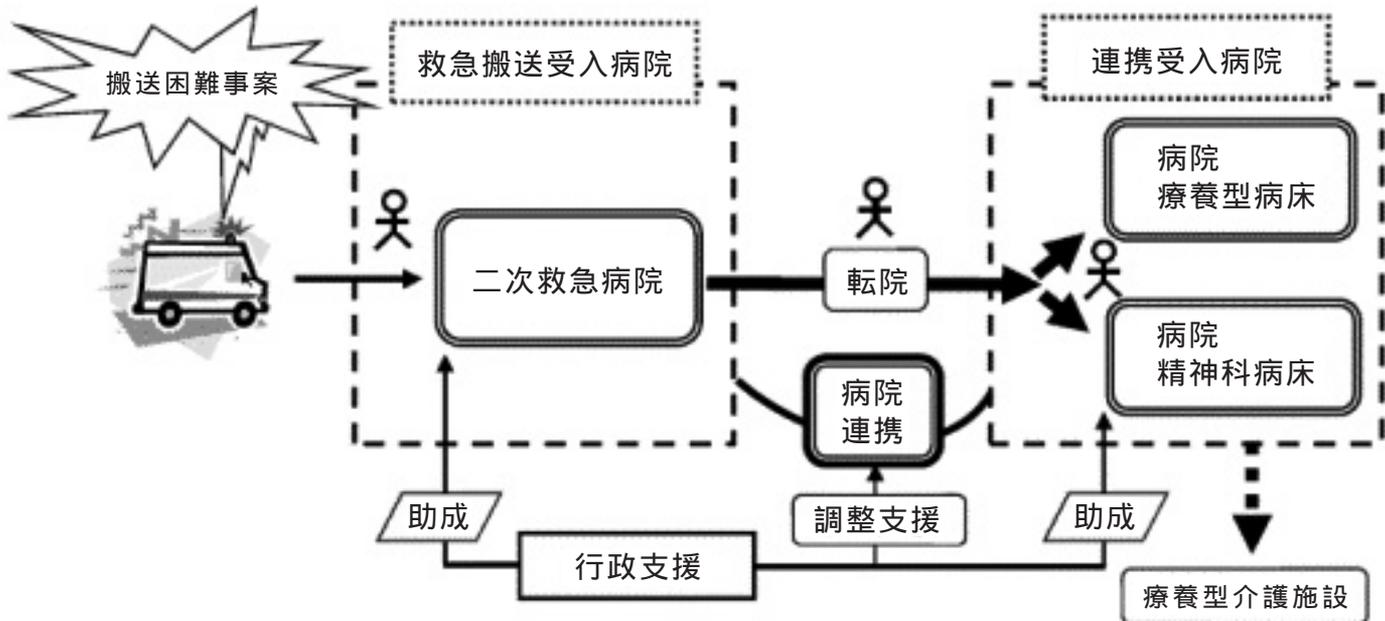
皆様も50回生を今後も温かく見守りくださいますようお願いいたします。



お知らせコーナー

救急搬送モデル事業参加について

救急搬送モデル事業イメージ図



救急隊が現場において、搬送先医療機関を選定する際、「電話照会回数が5回以上」を要している事案、すなわち搬送困難事案を解消するための施策のひとつとして、横浜市が平成23年度からこのモデル事業を実施しています（上記イメージ図参照）。

この仕組みは、二次救急病院が、急性期の療養を終えた受入患者の転院先を確保することにより、満床等の事態を発生しにくくし、新たな救急の困難患者を受け入れ易くするとともに、そういう一連の流れを作り出すことを狙いとしています。

横浜医療センターは、これまでも多くの救急患者を受入れるなど、救急医療に精力的に取り組んでまいりました。

このモデル事業について、横浜市の要請に基づき、当院はこの救急搬送受入病院の役割を引き受けます。（平成24年10月1日より開始）

同時に、連携受入病院として、生協戸塚病院、西横浜国際総合病院、日立横浜病院、横浜いずみ台病院、横浜舞岡病院の5病院が患者転院先となる後方病院の役割を引き受けていただくことになりました。

当院は、今後も地域の方々が、より安心して暮らしていける医療環境づくりに貢献してまいります。

お知らせコーナー

地域医療連携室を移転しました

地域医療連携室は、医療相談、退院相談、医療機関紹介、地域からの受診受付など様々な相談に、医療ソーシャルワーカー、事務職員、看護師が対応しています。

今年度は、地域医療連携室長が小松臨床研究部長へ交代となり、医療ソーシャルワーカーも1名増えました。

8月より、初診窓口横から「地域医療連携室 がん相談支援センター」として現在の場所に移転しました。スペースも広くなり、がんに関する情報も提供できるようになっています。診療時間内はいつでも開いていますので、どうぞお気軽に相談にいらしてください。



病院バス停・駐輪場の屋根の設置について

病院をお越しの患者の皆様にも、よりよくご利用していただくために、病院敷地内「横浜医療センター」バス停および院内駐輪場に屋根(キャノピー)の設置工事を行い、この度、平成24年8月6日に完成いたしました。また、併せて障害者用駐車場への屋根の設置も行いました。



地域医療連携

病診連携施設紹介

医療法人社団 マサカクリニック

マサカ内科小児科

診療科目：内科・小児科

当院はおかげさまで開院40周年を迎えることができました。

東戸塚駅のできる前の昭和46年川上町にマサカ小児科として開院。昭和55年に東戸塚駅が開業し、58年に現在の場所(駅東口)に移転。その後平成元年に法人化、平成22年に院長が交代しマサカ内科小児科になりました。

私自身は消化器内科の出身で国立国府台病院が長かったので国立病院機構の病院には勝手に親近感を抱いております。また、国立横浜病院小児科OBの奥平先生には一時期当院を手伝っていただき、またご指導いただき、この場をお借りして感謝申し上げます。

当院は子供から高齢者まで受診できる普通のかかりつけ医院を目指しております。現在、前院長を顧問に、院長と他に非常勤の内科医2名で診療にあたっています。東戸塚地区の人口増加もやっと落ち着いてきて小学生の人口ももうすぐピークのようです。高齢化も進みつつあり、ますます医療のニーズは増えることが予想されます。

横浜医療センターの先生方には大変お世話になっております。いろいろご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからも病診連携をよろしくお願いいたします。



前列左から二番目が真坂院長



医療法人社団マサカクリニック マサカ内科小児科

〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町523-3 TEL:045-823-7866

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 13:00				/		/	/
午前 9:00 ~ 16:30	/	/	/	/	/		/
午後 15:00 ~ 18:30				/		/	/

休診日 木曜・日曜・祝日

医師の人事異動

異動年月日	発令	職名	氏名	異動年月日	発令	職名	氏名
H24. 6. 1	採用	消化器内科医師	栗山 朋子	H24. 5. 31	退職	消化器内科医師	塩賀 太郎
H24. 6. 2	採用	呼吸器外科医師	安藤 耕平	H24. 6. 1	退職	呼吸器外科医師	石川 善啓
H24. 6. 2	採用	脳神経外科医師	坂本 雄大	H24. 6. 1	退職	脳神経外科医師	田中 悠介
H24. 10. 1	採用	皮膚科医長	宮田 聡子	H24. 6. 30	退職	産婦人科医師	後藤 美緒
H24. 10. 1	採用	小児科医師	小郷 寛史	H24. 8. 31	退職	脳神経外科医師	郭 樟吾
H24. 10. 1	採用	小児科医師	村田 宗紀	H24. 9. 30	退職	皮膚科医長	齊藤 典充
H24. 10. 1	採用	小児科医師	園田 香里	H24. 9. 30	退職	循環器科医師	嵐 弘之
H24. 10. 1	採用	小児科医師	山本 真由	H24. 9. 30	退職	小児科医師	鈴木 剛
H24. 10. 1	採用	呼吸器外科医師	天野 新也	H24. 9. 30	退職	小児科医師	平田 理智
H24. 10. 1	採用	産婦人科医師	寺田 秀昭	H24. 9. 30	退職	小児科医師	神垣 佑
				H24. 9. 30	退職	小児科医師	河合 駿
				H24. 9. 30	退職	小児科医師	中野 晃太郎
				H24. 9. 30	退職	呼吸器外科医師	李 相憲

Table with columns for Department (診療科・曜日), Day (月, 火, 水, 木, 金), and Remarks (備考). Rows are categorized by A (外来受付), B (外来受付), C (外来受付), D (外来受付), and 専門外来 (Special Outpatient). Includes names of attending physicians and specific notes for each department.

初診受付: 平日 8:30~10:00
再診(予約外)受付: 平日 8:30~10:00
休診日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日~1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月~金 8:30~17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変更箇所となります。ご確認の上受診ください。

編集後記

今年の秋は、気温の変化も不安定で、10月なのに、まだまだ暑い日が続いたり、体調管理がむずかしくなっています。十分な睡眠、食生活に注意をし体調を整えて、行楽の秋、スポーツの秋などを楽しみましょう。